

1. 調査概要

1-1. 調査範囲及び実施年度

本調査は、県内沿岸の藻場分布状況を把握するものであり、図1に示す1から44までの区域のうち、12～44（三重県鳥羽市～南牟婁郡紀宝町沿岸域）を令和3年度に、1～11（三重県桑名郡木曾岬町～鳥羽市沿岸域）を令和4年に実施した。

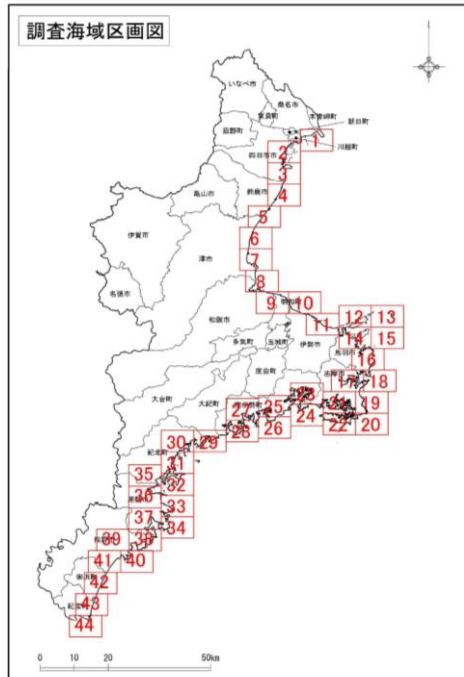


図1. 調査海域区画図

1-2. 調査方法

本調査は、衛星画像解析手法を用いて藻場分布状況を明らかにした。衛星画像をマスク処理、放射輝度変換大気補正、水柱補正等を行うことで底質の違いを増幅させ、現地調査に基づく教師データを用いて解析することで藻場の判別を行った。

1-3. 調査対象及び条件

藻場を構成する海藻（草）種は、アラメ・カジメ場、ガラモ場、アマモ場、ワカメ場、テングサ場を対象とした。また、藻場の被度区分は、濃生（被度75%以上）、密生（被度75～50%）、疎生（被度50～25%）に分類した。

（*被度25%以下の藻場は、衛星画像を用いた解析では判別困難であるため「藻場無し」と判定している。）